議会審議をピックアップ！
～こんなことが決まりました～

平成23年11月28日に「平成23年第5回熊野町議会臨時会」が開催された。町職員の給与を減額する条例改正案が町長から提出され、原案通り可決した。

また、平成23年12月14日から開会した、「平成23年第6回熊野町議会定例会」に、町長から議案が8件提出された。慎重な審議を行い、全て原案どおり可決した。また議員から1件議案を提出し、原案どおり可決した。

条例改正

■税条例（一部改正）

国の法改正に伴うもので、主な改正内容は、寄附金税額控除の適用下限額の引き下げ及び租税罰則の見直し等を行うもの。

予算

■平成23年度一般会計補正予算

障害者自立支援事業でのサービス利用者の増加や、感染症対策事業に要する追加経費などによる増額のほか、子ども手当の支給等に関する特別措置法の影響や人件費の調整などにより、差し引き4280万円を減額するもの。

Q 感染症対策事業において、現在までの各ワクチンの接種人数は。

A 平成23年9月末で、子宮頸がん予防ワクチン493名、*ヒブワクチン574名、肺炎球菌ワクチン576名の方が接種している。

■職員の給与に関する条例（一部改正）

人事院勧告による給与の引き下げを行うもの。40歳代以上を対象に全体平均で約0・2％の引き下げなど。下記参照。

職員の給与に関する条例の一部改正（11月）

■給料表の改定

50歳代を中心に40歳代以上を対象に引下げを行い、全体平均で約0.2%の引下げ

■期末手当の減額調整

上記改定が平成23年４月に行われたものとみなし、調整率を乗じたものを平成23年12月に支給する期末手当から減額

■平成18年給与構造改革に伴う号給の調整など

Q 来年度はワクチン接種に、国が補助を出さないという情報もあるが、来年度の予定は。接種希望も多いので継続を望む。

A 今回接種数が伸びたので補正をさせてもらった。国の補助については未定であるが、今後も国の状況を注視していきたい。

※ヒブ（Ｈｉｂ）：ヘモフィルスインフルエンザ菌ｂ型の略称。中耳炎、副鼻腔炎、気管支炎などのほか、髄膜炎、敗血症、肺炎などの重篤な全身感染症を起こす乳幼児の病原細菌です。

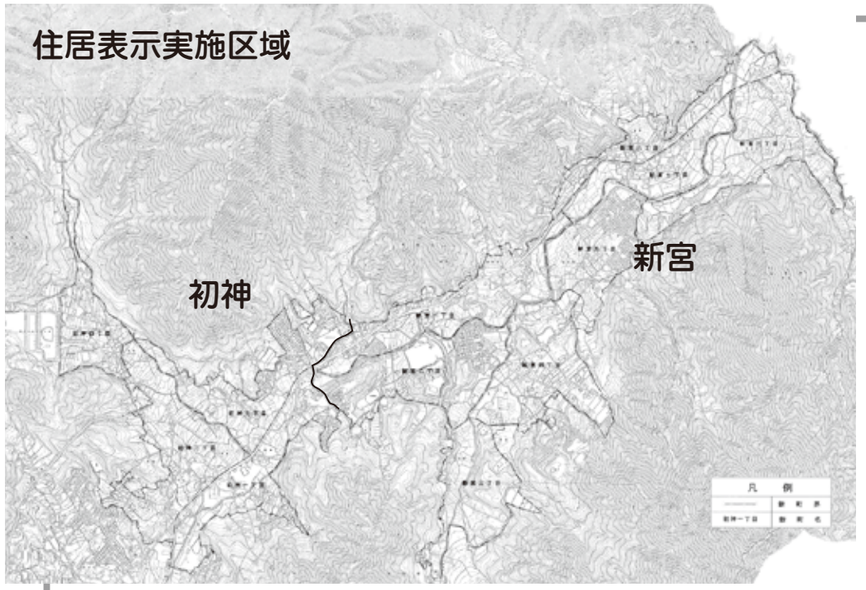
▲くまの・みらい保育園

▲西部地域健康センター

住居表示

■字の区域廃止及び名称の変更

初神・新宮の全域、城之堀・萩原の一部の住居表示を平成24年2月20日から実施。



発議

■「協同出資・協同経営で働く協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書

国及び関係機関へ同意見書を提出。

指定管理者の指定

■くまの・みらい保育園

「社会福祉法人 微妙（みみょう）福祉会」を引き続き指定。期間は5年間。

■西部地域健康センター

「特定非営利活動法人 熊野人材センター」を引き続き指定。期間は5年間。